

授業科目等の概要

(航空技術専門課程 航空整備士学科 専攻コース) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験教員配置
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			機体システム	受験航空機及び二等航空整備士資格受験に必要な各種システムについて、その機能や取扱い等の知識を教授する。	1通	56	4	○		△	○		○			○
○			電子装備品等	航空機に装備される各種電子・電気機器の構造、機能等について二等航空整備士実地試験受験レベルの知識を教授する。	1通	56	4	○		△	○		○			○
○			基本技術(学科)	二等航空整備士資格取得のため必要な航空機の「基本的整備技術」についての知識を教授する。	1通	56	4	○		△	○		○	○	○	○
○			機体	受験航空機の構造、系統、装備品等並びに航空機全般にわたる取扱要領や整備要領を実践的に習得。	1通	112	4	△	△	○	○		○			○
○			電子装備品(電気・計器・通信)	受験航空機の電子・電気装備品の取扱要領や整備要領を実践的に習得。	1通	112	4	△	△	○	○		○			○
○			整備に必要な知見	受験機の機体、発動機、電子装備品について、取扱要領や整備要領等を実践的に教授し、知識と実技を受験レベルに深める。	1通	112	4	△	△	○	○		○			○
○			技術(整備に必要な技術)	受験航空機または受験に必要な内容を対象に、その取扱要領や整備要領等を実践的に教授し、知識と実技を総合的に深める。	1通	112	4	△	△	○	○		○			○
○			技術(航空機の点検作業)	受験機について点検要領等を実践的に教授し、知識と実技を総合的に深め、二等航空整備士資格受験レベルを習得させる。	1通	84	3	△	△	○	○		○			○
○			技術(動力装置の操作)	受験機について試運転要領等を実践的に教授し、知識と実技を総合的に深め、二等航空整備士資格受験レベルを習得させる。	1通	112	4	△	△	○	○	△	○			○
○			受験対策	口頭試問、実技の演習を中心に二等航空整備士実地試験に対応する力を身につけさせ、受験レベルに到達させる。	1通	98	7	○	△	△	○		○			○
○			総合	授業、訓練で理解できなかった部分をレビューし解説を行い、積み残し無しで次のステップ(授業)に望めるように教授する。	1通	56	9	○	△	△	○		○		○	○

必修科目：1022時間

実務経験：966時間